



È ~#ÿ\$ \$B\$u#\$\$E\$ ù Ü\$ \$ \$#\$ \$4#\$\$j\$P\$# \$u#\$\$C\$r\$U\$V# t 7 :.\$ ó#ä#e\$ \$ 14 :#1#P#ù\$SiD  
\$J#\$\$:.\$t\$D\$ :#2#ä\$3\$~\$\$S\$u#\$\$i\$ #i#÷#

! È\$ è\$ à#0#÷; Á\$ Ü -#ÿ# x »\$ \$1\$3\$N\$\$ Á Ì\$ \$ #0#p#Ü\$ #i#÷#0#À20 ò\$ Ð #ä '\$\$\$  
\$\$ \$>\$~\$R\$. \$B\$r\$~#ä g â#i# ~ öD\$u\$N\$:.\$J\$/So#ÿ\$>#\$\$D\$/~#i\$ #i#÷# \$ #5 ö#ÿ\$ \$ A  
Ð#ä 2 /#i\$\$# 1 g Ü\$ \$d\$D\$\$S\$J\$/Sk e#ÿ# Race1 \$ \$; \$u\$N\$T\$\* 2 ú# 2 g Ü\$ \$d\$D\$\$S\$J\$/Sk e#ÿ  
Race2 \$ \$; \$u\$N\$T\$#ä 2\$ \$!\$\$\$ #ñ# \$Race3 \$ 1 g Ü\$ \$F\$6\$~\$T\$d\$D\$\$ e#ÿ#ñ#

1 g Ü#ÿ# \$ #ò «\$J\$/k\$\* ; Ü#i#÷\$ #ä# VFÜRJ\$ t ÷#i#÷ [\$\* ¿#ü rÐ ^ #1 ARTA  
F111/3 #2# } '8 ò\$ 1 ò27 ©346 \$\* ; Ü#i\$ #i#÷#ä# Í•\$ u #ä 1 ò27 ©187 #ÿ ... ú\$\$N\$b\$ e  
#ù\$ #i#÷# #i\$!\$ Ö \$ \$e#\$\$D\$\* Á#è#p ò26 ©513 \$\*#i#\$\$:#i#p\$\$N\$b\$ È Á# #ò\$\$\$ \$#i u \$  
\$J\$/k\$\* J\$ #p#Ü#ä# \$F\$N\$B\$r\$-2( \$ \$ \$ #i#Ü\$J\$/k\$-J\$N\$: í ÷\$ \$ "\$ #i#÷#

+ ( \$ Ö #ä 1 ò26 ©69 \$\* S#ä N#Race1 \$ \$h#\$\$v\$h\$C\$B\$r\$~\$\* ÿ Ö# u \$ +•\$ #ÿ È r  
\$d\$D\$\$S\$J\$/k\$\* ¿ ñ#i\$ #i#÷#0#02 © #ä#ò2 ^ \$ \$ "\$ #i#÷#3 ^ \$ \$ V Ü\$ \$t\$~\$8\$~\$; 2 „#ÿ#Ü\$#  
m ] C #1 TOM#S YOUTH#2#ä È\$ "\$ #i#÷#

Race1 Û – é µ Á ½ – ã r ©



10分のインターバルを挟んで行われた予選2回目では、タイミングを見計らって開始2~3分が経過したところからコースインする車両が何台かいました。その中で、片山選手はセッション開始と同時にコースインし、積極的にタイムを更新していきます。開始7分のところで1分26秒045を記録すると、翌周には1分25秒754までタイムを伸ばしました。



Race2&3 ポールシッター 片山義章選手

一方、セッション終盤でのタイムアタックにかけていた塩津選手は残り5分を切ったところで、ガス欠の症状に見舞われてしまいスロウダウン。満足なタイムが出せないままピットに戻ることになりました。

結局、ライバルを圧倒する走りをみせ、最終ラップには1分25秒717で自己ベストをさらに更新した片山選手がRace2のポールポジションを獲得。2番手に古谷選手、3番手に三浦選手がつけました。

なお、予選1回目のセカンドベストタイム順でグリッドが決められるRace3も片山選手がトップとなり、2戦連続で先頭からスタートすることが決まりました。

マスタークラスは、予選2回目も田中選手が安定した速さをみせ、1回目の自身のタイムを1秒近く更新する1分26秒730をマーク。総合5番手に入る速さをみせてRace2のクラスポールポジションを決めました。またRace3も田中選手がクラストップからスタートとなる予定です。

注目のRace1決勝は本日26日14時30分から18周で争われます。

#### ◆Race1 ポールポジション 塩津佑介選手コメント

「自分のベストを出せばポールポジションは取れるかなと思っていました。ただ、アタックをしようと思っていたところでトラフィックに引っかかってしまいましたが、一回クールダウンを入れて、落ち着いた状態でもう一度アタックにいきました。そこで何とかベストタイムを出すことができました。Q2では、ちょうどアタックをしている時の最終コーナーで調子が悪くなってしまって、タイムを残すことができませんでした。そこは残念でしたが、まずは開幕戦でポールを獲得できたということは自分にとってすごい自信になりました。今回参戦するにあたって多くのスポンサーさんのご支援があったので、開幕戦で良い報告ができるように頑張りたいと思います」

◆Race2・Race3ポールポジション 片山善章選手コメント

「Q1の時にダブルヘアピンでシフトダウンができない症状がでてしまって、それに何周か悩まされてしまいました。昨日までの走行でも(その症状が)出ていたんですが、予選の時により大きく出てしまって、思うようなタイムは刻めませんでした。Q2はその対策で手前から減速する感じでアタックをして、何とかポールは獲れました。問題なく走れていれば、もう少しタイムは縮められたと思うので、少し不完全燃焼などころはありますが、コースレコードを記録できた部分については満足しています」

◆マスタークラスRace1・2・3ポールポジション 田中優暉選手コメント

「今回初めてFRJで予選アタックをして、何周目にタイムが出るのかとか分からない部分も多かったのですが、色々模索しながらの予選でしたが、最後の方でタイムをしっかりと出すことができました。ちょっとずつフォーミュラ・リージョナルの乗り方も分かってきたつもりでいましたけど、マスタークラスの他の方も速くてミスをしていないので、本当に僅差という感じ。1位でも全く安心できないですね。決勝も今回が初めての経験になりますし、練習走行ではロングランもやりましたが、実際にレースになるとどうなるか分かりません。とにかくスピンをしないように気をつけながら、行きたいと思います」

以上

<レースライブ配信予定>

レース1: 6/26(土) 14:25配信開始

<https://www.youtube.com/watch?v=UZLLq2pkXkw>

レース2: 6/27(日) 10:35配信開始

<https://www.youtube.com/watch?v=xz3P4DRasxk>

レース3: 6/27(日) 14:35配信開始

[https://www.youtube.com/watch?v=\\_fcuUX7NK2w](https://www.youtube.com/watch?v=_fcuUX7NK2w)